

## 首のリンパ節が腫れた

- 子どもの頸部リンパ節は、よく腫れます。  
5才未満では、約半数に見られます。  
子どもの頸部腫瘍の95%は感染症ないし炎症性のリンパ節肥大です。
- わかりやすいのは、急性咽頭炎（ノドのカゼ）にかかったと同時に頸部リンパ節が腫れたというパターンです。  
細菌性を疑えば、適切な抗菌薬を使用します。  
ウイルスで有名なのは、ライノ、アデノ、インフルエンザ、ムンプス、エンテロ、EB、サイトメガロ、単純ヘルペスなどです。両側性に見られます。
- 非感染性のリンパ節腫脹は鑑別が必要です。  
日本では川崎病が非常に多いです。  
発熱、両頸部リンパ節腫脹、結膜炎、不定形発疹、四肢硬性浮腫  
→ 原則、入院治療となります。



### 悪性疾患

- ・ 悪性腫瘍、白血病
- ・ 神経芽腫
- ・ 横紋筋肉腫
- ・ 甲状腺がん

### 膠原病

- ・ J I A
- ・ S L E

### その他

- ・ 川崎病
- ・ P F A P A 症候群
- ・ 木村病
- その他

### 一般的な話



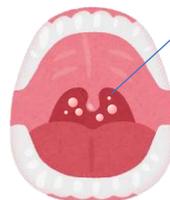
リンパ節がやわらかく、移動性があり、全身状態が良い場合は、悪性疾患を考えにくいです。

→ 必要に応じて、精密検査を行います。

## 最近の外来状況

- ※ R7. 11月にインフルエンザA型が流行しました。  
この地域では、引き続き、12月にA型が流行していました。  
R8. 1月に入り、B型が爆発的に増えました。  
A型はほとんど見られなくなりました。  
突然の高熱、頭痛、関節痛はA型と同じです。  
B型の典型例では、消化器症状（嘔吐、下痢、腹痛）を見ることがあります。  
下肢：特にふくらはぎを痛がって、歩けなくなることがあります。

インフルエンザB型  
咽頭所見



イクラ様の赤いブツブツが見られます。

咽頭後壁の濾胞腫大を見る事があります。  
B型ではよく見ます。

- ※ ウイルス性胃腸炎も多く認めます。  
症状は、嘔吐、下痢ですが、人によっては、嘔吐のみ、下痢のみというパターンもあります。

定期接種の開始後は、ロタウイルス・胃腸カゼは激減したといわれております。

- ロタウイルス性胃腸炎 → 突然の嘔吐、水様性下痢、発熱、脱水
- ノロウイルス性胃腸炎 → 1歳以上は嘔吐が主症状、  
乳児、大人は下痢が主症状となりやすいです。

## お知らせ

岐阜市の  
漢方外来

2月 14 日(土)  
28 日(土)

時間:14:00-17:30  
場所:中島小児科(岐阜市健屋東町2-1)  
※すべて「院外処方」です。

休診のお知らせ

2月 4 日(水), 14 日(土)